

糸我小学校だより

令和3年12月17日①



星がキラキラと瞬きとてもきれいな季節になってきました。星空と言えば、三大流星群のひとつ「双子座流星群」が今年も12月4日～12月17日頃に観測されました。流星を観ようと星空を見上げた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。たまに夜空を眺めてみるのも良いものですね。今年もたくさんの地域の方や保護書の方にお世話になりました。ありがとうございます。来年もご協力のほどよろしくお祈りします。良いお年をお迎えください。さて、今月も紙面上ですが、糸我小学校の様子を見ていただきたいと思います。

「人権教育」と学校の取組

12月4日～10日は人権週間で、10日は人権の日（国連人権デー）です。この人権週間・人権の日は、人権を大切にする考えを広める活動を展開することが目的で、国際連合によって1950年に採択されました。本校でも、人権教育の一環としていろいろな取り組みをしています。

○高齢者理解の学習

11月12日（金）から5回にわたり6年生を対象に高齢者理解の学習を行いました。有田市社会福祉協議会の方に来ていただき認知症について学びました。認知症について教えていただき正しい知識を身につけたり、保護者の方に協力していただき認知症についてのアンケートを実施したりしました。アンケートを基に気づいたことを出し合い自分たちができることを話し合いました。その結果、学んだこと（認知症の人が一番不安であること、周りの人が笑顔で優しく接することで認知症の進行が緩やかになること等）を家族に伝えようということになりました。



○情報モラルの学習

11月25日（木）4～6年生を対象に、NPO情報セキュリティ研究所の方に情報モラルについてのオンライン授業をしていただきました。SNSを使うときのマナーやSNSの危険性などについて、実際にあったトラブルや事件などを例に挙げお話ししてくれました。

「相手の人のことをよく考えて、マナーを守って行動すること」「本当の顔が見えない相手を安易に信用してはいけないこと」「依存症になるのを防ぐために使用時間などのルールをおうちに人と話し合うこと」など、いろいろお話ししてくれました。

スマホやタブレットが普及し身近になったインターネット。使い方やルールについて今一度振り返り、話し合いたいと思います。



○障害者理解の学習

12月2日（木）有田市在住の中途視覚障害者の長谷川好和さんとスタージ・ウェーバー症候群を患う長谷川志穂さんのご夫妻に講師として来ていただき、6年生を対象に障害者理解の学習を行いました。障害を持つ立場として困ったこと、自分でできること（できるようになったこと）、どういこうことをしてほしいのかなどお話ししてくださいました。子どもたちは、長谷川夫妻の話を熱心に聞き、その後、質問をしました。はじめは、初対面の方なので遠慮している様子でしたが、長谷川さんの温かくユーモアあるお人柄のおかげで、たくさん質問やお話ことができました。

また、志穂さんは、東京オリンピックの聖火リレーのランナーの一人に選ばれていて、その時の聖火トーチを見せてくれました。

授業後、長谷川さんから「子どもたちが一生懸命話を聞いてくれていたし、とてもうちとけられてよかった。」と言っていました。今日、子どもたちが学んだことをこれからの生活に生かしていってほしいです。

○人権擁護委員さんの人権学習

少し前の話になりますが、10月21日（木）に4年生を対象に人権擁護委員の大浦常男さんに講師として来ていただき「いじめ」について学習しました。『プレゼント』というお話を教材に授業を進めてくださいました。このお話は、誕生会のプレゼントがきっかけでいじめにあうというもので、子供たちにとっては身近なお話です。

「友達だからといって、してはいけないことを一緒にしてはいけない」「心の中でかわいそうだと思っても止める一歩を踏み出さないといけない」「いじめられたからといっていじめ返すといつまでも続く」などたくさんのお話を考えられました。



このほかにも、有田市保健センターの方が4年生を対象に「命の学習」をしてくださいます。授業は令和4年1月20日（木）に実施予定になっています。また、後日その時の様子をお知らせしたいと思います。これからも子供たちの人権意識を高めていきたいと思っています。

糸我保育所すみれぐみと一年生との交流会

11月19日（金）は糸我保育所の年長さんを1年生の教室に招待し「あきを たのしもうかい」を行い交流しました。1年生の子供たちが司会や挨拶を務め、読み聞かせや手作りのおもちゃで年長さんをもてなし楽しみました。その姿が微笑ましく思うとともに、お兄さんお姉さんとしての頼もしさも感じました。今日のがんばりが伝わって、年長さんたちも入学を楽しみにしてくれているといいですね。



糸我小学校だより

令和3年12月17日②



学校開放週間

1月22日（月）～26日（金）は学校開放週間でした。お忙しい中にもかかわらず、学校や子供たちの様子を見に来てくださり、ありがとうございます。期間も短かったせいか学校に来ていただいた保護者の方や地域の方は少数でしたが、アンケートにご協力くださった方もいて、あたたかい励ましや感謝の言葉をいただき、保護者の方々に支えられていることを改めて感じる事ができました。今後も皆様のお力を借りながら、安心・安全を第一に、よりよい学校づくりを目指し、職員一同頑張っていきたいと思っております。

校内持久走記録会

12月3日（金）は校内持久走記録会を行いました。コロナ感染拡大予防のため従来の形を変え、校内で学年別に行うことにしました。また、距離を決めてタイムを測るのではなく、時間を決めてその中でどれだけ距離を走れるのか記録をとりました。時間は、文科省の学習指導要領を基に、低学年は3分、中学年は4分、高学年は6分間としました。

当日、子供たちは、今までの練習でつかんだ自分のペースを思いだしながら一生懸命走っていました。低学年は何周走ったかを高学年のお兄さんやお姉さんに数えられました。高学年が走るときは低学年の子供たちは、お世話になったお返しと言わんばかりに、一生懸命応援していました。走り終えた爽快感を忘れないで、これからも走ることを楽しんでほしいと思います。



演劇鑑賞会～劇団風の子～

12月6日（月）に劇団風の子に来ていただき演劇鑑賞会を行いました。上演された作品名は『風の少年シナド』というお話でした。このお話は、自然の中にたくさんの目に見えない命が息づいていた、いにしえの世界を舞台に、風という意味の名前を持つ少年の冒険を描いています。荒々しい自然を相手に、子どもが真っ直ぐに考え、悩み、走り、38億年続く命のつながりを取り戻す物語です。（劇団風の子関西HPより）



当日、舞台セットが体育館の約半分を占める大きなものとなりました。そのため、上演前から別世界に入ってきたような雰囲気になっていました。子供たちもこれから始まるお話に胸が高まっていたに違いありません。お話は、低学年には少し難しかったかもしれませんが、おもしろい場面では笑い、竜が出てくると歓声を上げ、劇を楽しんでいるようでした。高学年の中には、たった6人で演じているその表現力におどろく子もいました。

演劇を見に行くというご家族はきっと少ないと思います。演劇は、子どもの表現力やコミュニケーション能力を高める絶好の教育法だとよく言われます。もちろん演じる方が効果的ではありますが、優れた芸術表現を観て心が動く体験がなくては、豊かな表現力も育まれないと思います。そういった意味でも今回の演劇鑑賞会は、子供たちにとって良い体験になりました。



校内授業研究会

12月14日（火）は、1年生の国語科の校内授業研究会を行いました。本校では、国語科で子供たちに学力をつけるためにどのような授業が効果的なのかを研究しています。そのため先生方が互いに授業を見せ合う時間をとっています。今回1年生の子供たちにとって複数の先生に45分間観られるのは初めてのことで緊張しているかと思いきや、いつもどおり落ち着いているように見えました。さすがです。放課後、先生方が集まって授業の良かった所、改善すべきところなど話し合いました。教育委員会の先生にも来ていただいてアドバイスをいただいています。今回の1年生の授業で、全ての学級が研究授業を終えました。今年度の研究の成果と課題を今後活かしていきたいと思っております。

